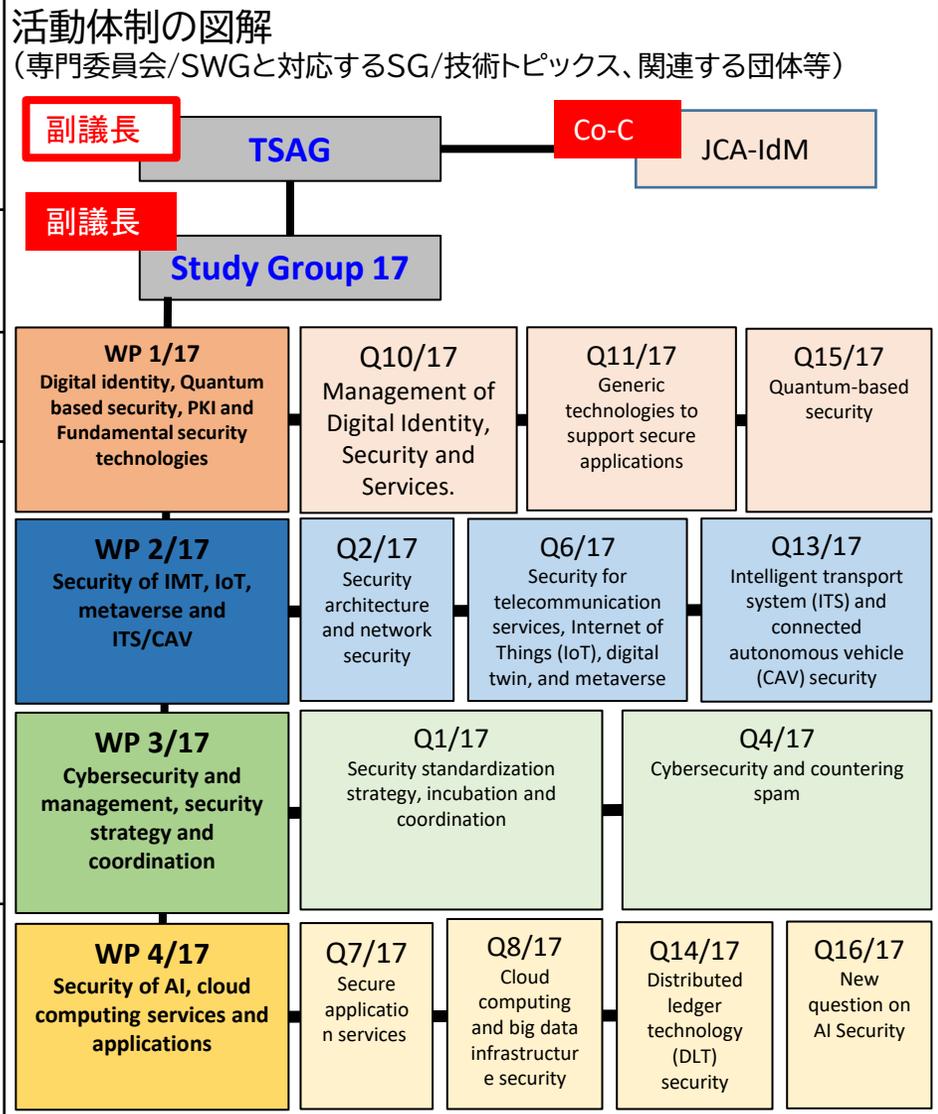


セキュリティ専門委員会

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名 セキュリティ専門委員会 1/3

企画戦略委員	小川 健一(日立製作所)
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長 磯原 隆将(KDDI)、副委員長 安田 幹(NTT)
活動の目的・意義 ・めざすゴール	<ul style="list-style-type: none"> 目的: 電気通信サービスに関わるサービスにおいて、サービスの安定運用とお客様への被害を最小限とするセキュリティ対策の仕組みの中で、国際標準化や情報共有が必要なものを勧告、技術文書として発行。 意義: 電気通信サービスに関わる新しいネットワーク技術、アーキテクチャー、サービス等においてセキュリティ対策は必須となっており、サービスの安定運用と日本の技術の展開に向けた取り組みに意義がある。
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 量子技術、5G、Beyond 5G/6G、クラウド・仮想化、DLT、メタバース、サプライチェーン、AI等の新プラットフォーム・サービスの発展により、新たなサービスの展開が急速に進んでおり、これに伴うセキュリティ上の問題に対する新たな取り組みが必要。
関連のSDGsゴール	
標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> ITU-T SG17の活動において、特に、セキュリティマネジメント、CDC(Cyber Defence Centre)/CSC(Cyber Security Centre)、ITSセキュリティ、IoT/M2Mセキュリティ、5G/6Gセキュリティ(インフラセキュリティを含む)、クラウドセキュリティ、ID管理、DLTセキュリティ、量子関連セキュリティ(QKD、PQC等)の活動に対して寄書等により貢献。 他の分野と連携が必要な項目については、該当する専門委員会と引き続き情報交換を行いながら検討を実施。具体的には、QKD(NW Vision、信号制御)、IoTセキュリティ(oneM2M、IoT/SC)、ITSセキュリティ(マルチメディア、コネクテッドカー)、メタバース(マルチメディア)等が対象。 ITU-T全体としてAI関連の活動が活性化していることから、他のSGの状況を確認しながらSG17での活動内容を整理するとともに、日本としての対応を検討する。 他国が提案する新規ワークアイテム、および、勧告案において、日本の方針に反する内容を勧告に含まれないように注視し、関係国と連携しながら必要な対応を行う。
国内外の標準化団体等の動向	<ul style="list-style-type: none"> テレコムネットワークでのサービスが拡大する中で、AI、ID管理等の新しいトピックへの対応が求められている。これらについては、他のSG、標準化団体等との調整が必要。また、新任SG17議長のリードの元、課題再編や産業界誘致など活動の近代化と称するマネジメント活動も進められている。



<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 量子関連技術の発展に伴うセキュリティ関連取り組みの強化(QKD関連の勧告作成の推進、PQCに関連した文書作成への貢献) X.1060(Cyber Defence Centre)のアフリカ諸国等への展開とCDC関連の勧告・補足文書作成への貢献 B5G/6G、AI、Digital Twin、メタバース等に関する新しいトピックに対するセキュリティの取り組み強化 X.1051(Controls for Telecom)の改訂作業への貢献 日本として注力・主導してきたIoT/ITS等に関するワークアイテムへの勧告化に貢献 			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> コネクテッド・カー専門委員会:ITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討 Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い マルチメディア応用専門委員会:AI関連技術、メタバース、Digital Twin、分散電子台帳技術とeサービス AI活用専門委員会:AIセキュリティに関わる連携 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2025年度目標(当初計画時)</p>	<p>2025年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各SG17会合で10件程度 	<ul style="list-style-type: none"> 6件(SG17 2025年4月会合) 9件(SG17 2025年12月会合) 	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> SG17会合(2025年4月、9月) CJK Information Security WG会合(時期未定) 	<ul style="list-style-type: none"> SG17会合(4月会合)17名参加、(12月会合)27名参加 CJK IS WG(2025年8月)2名参加 Q15/17 Rapporteur 日本会合(2025年8月) 7名参加 	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>0件(サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無を検討する)</p>	<p>0件(2025年はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し)</p>	
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件</p>	<p>0件/0件/0件</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>TS: 回 TR: 回</p> <ul style="list-style-type: none"> X.1373については、改定内容を確認して標準化検討する。(X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices) 5Gのセキュリティ管理策(2024/09合意)については、SG17での勧告化後にTTC標準化を検討する。 	<p>TS制定 TR制定: 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> TR-XSup.44(X.1060の付属文書 - 概略的な実装の考察) 2025年11月28日制定 	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>セキュリティに関するセミナー開催(2025/2Q)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2026年3月にSecurity Days Spring 2026にて、「ITU-T SG17におけるセキュリティの国際標準化最新動向」と題するパネルディスカッションを実施予定(登壇者3名) 	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCLレポート活動報告、他</p>	<ul style="list-style-type: none"> SG17 12月会合の結果報告をTTCLレポートに寄稿。 	

重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 量子関連技術の発展に伴うセキュリティ関連取り組みの強化(QKD関連の勧告作成の推進、PQCに関連した文書作成への貢献) 課題3と課題10が統合された課題におけるセキュリティマネジメント、ID管理等に関する勧告・補足文書作成への貢献 日本として注力・主導してきたIoT/ITS等に関するワークアイテムへの勧告化に貢献 			
新テーマ	<ul style="list-style-type: none"> AI、B5G/6G、Digital Twin等に関する新しいトピックに対するセキュリティの取り組み強化 			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	<ul style="list-style-type: none"> コネクテッド・カー専門委員会:ITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討 Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会:QKDに関わる勧告作成 IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会:IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い マルチメディア応用専門委員会:AI関連技術、メタバース、Digital Twin、分散電子台帳技術とeサービス AI活用専門委員会:AIセキュリティに関わる連携 			
主な活動項目	概況指標	2026年度目標(当初計画時)	2026年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	<ul style="list-style-type: none"> 各SG17会合で10件程度 	-	
	外部会合への参加・連携状況	<ul style="list-style-type: none"> SG17会合(2026年6月、2027年1月) Content Week会合(2026年3月、9月) CJK Information Security WG会合(26年4月日本開催を予定) Q15/17 Rapporteur会合(26年4月日本開催を予定) 		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件(サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無を検討する)		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	TS:1件: X.1711: “Framework of quantum key distribution (QKD) protocols in QKD network” TR:1件: XSTR.ac-pqc: Guidance on use of advanced cryptography based on PQC	TS制定: TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	セキュリティに関するセミナー開催(2026/2Q)		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、他		